

平成29年度事業報告

【就労部門】

1 共同受注事業

○平成29年度さかえちよう公園休養施設清掃委託業務受託

平成29/4/1～30/3/31

○平成29年度秦野市本庁舎等庭園管理委託業務受託

・フラワーポット(本・分・西庁舎)、本庁舎正門花壇及びモニュメント花壇の
植替え業務受託 弘済学園

○秦野市文化会館事業協会 焼菓子・自主製品販売ー1回 8月9日

大根工芸、みのりの家、かがやき、やまばと、松下園、ちっちな星の会

○秦野市の行事記念品作成等業務受託

10/21 社会福祉大会、10/21 パラスポーツフェス

12月 心の贈り物(クリスマスプレゼント)

○戸川公園花壇植え込み業務受託

夏: くず葉学園 秋: くず葉学園

○東名売店委託販売(中井サービスエリア) 大根工芸

○NEXCO中日本草刈業務受託

・東名周辺及び高架下 夏 かがやき 2か所、くず葉学園 1か所、

○アコム見るコンサート配布品受託 みんなの広場、やまばと学園

2 各事業所自主製品の販売促進事業

(1) 秦野市市営鶴巻温泉「弘法の里湯」内の売店「やまなみ」にて

各事業所の自主製品の販売

[出品事業所]

①大根工芸 ②くず葉学園

③秦野ワークセンター ④鶴巻工芸

(2) 「イオンの日」イオン秦野店地域貢献の日にて展示即売会 実施日 毎月11日

[出店事業所]

①秦野精華園 ②弘済学園 ③ちっちな星の会

④くず葉学園 ⑤松下園 ⑥ゆめ散歩

(3) 戸川公園チューリップ祭 実施日 4月8日～15日

[出店事業所]

① ゆめ散歩 ② ちっちな星の会 ③ 秦野ワークセンター

(4) 粋な祭での展示即売会 実施日 5月14日

[出店事業所]

①ゆめ散歩 ②弘済学園

(5) 戸川公園あじさい祭 実施日 6月20日・21日

[出店事業所]

ちっちな星の会

(6) 秦野市中央運動公園プール内の売店にて物販 実施日 7月1日～9月4日

[実施事業所]

あけぼの

(7) パラスポーツフェスタ 実施日 10月21日 秦野市体育館 ゆめ散歩

- (8) 秦野たばこ祭 実施日 9月23日、24日
 青空市場 他 ①ちっちゃな星の会 ②秦野ワークセンター ③ゆめ散歩
 ④弘済学園 ⑤やまばと学園 ⑥にこにこパン工房
- (9) 戸川公園祭り 実施日 10月21日 ①秦野ワークセンター
 [出店事業所] ②ゆめ散歩 ③ちっちゃな星の会 ④秦野精華園
- (10) 弘済ひなた祭り 実施日 11月5日 場所 弘済学園 敷地内
 [出店事業所] ①ゆめ散歩 ②秦野精華園 ③大根工芸 ④にこにこパン工房

- (11) 「イオン秦野店周年祭」展示即売会 実施日 11月10～11日
 [出店事業所] ①ちっちゃな星の会 ②鶴巻工芸 ③秦野ワークセンター
 ④かがやき ⑤秦野精華園 ⑥弘済学園 ⑦やまばと学園
 ⑧松下園 ⑨みんなの広場 ⑩ゆめ散歩

- (12) さかえちよう公園イルミネーションフェスティバル 実施日 12月2日～24日

- [出店事業所] ①あけぼの ②ちっちゃな星の会 ③秦野精華園
 ④みんなの広場 ⑤ゆめ散歩

[オブジェ出展事業所・団体]

- ①秦野精華園 ②うぐいすの家 ③大根工芸 ④かがやき
 ⑤ちっちゃな星の会 ⑥鶴巻工芸 ⑦松下園 ⑧弘済学園
 ⑨秦野ワークセンター ⑩やまばと学園 ⑪ライフステージ・悠トピア
 ⑫ひまわり ⑬あけぼの ⑭大道商和会 ⑮大道自治会 ⑯ゆめ散歩

- (13) 曾屋神社 節分祭 展示即売会の実施 実施日 2月3日

- [出店事業所] ゆめ散歩

- (14) ポイントカード 年間使用枚数 123枚 6,150円

3 自販機管理事業

[実施事業所]

- | | | |
|---------|------------|-----|
| ①うぐいすの家 | 秦野市総合体育館 | =2台 |
| ②かがやき | 秦野市おおね公園 | =2台 |
| ③機構 | 公民館(西、渋沢) | =2台 |
| | 秦野市役所 | =3台 |
| | さかえちよう公園施設 | =1台 |
| | ぱれっとはだの | =2台 |

4 さかえちよう公園・ゆめ散歩における各種イベント

7月5日～7日 セタまつり 飾り付け参加事業所

かがやき、鶴巻工芸、くず葉学園、松下園
 うぐいすの家、秦野ワークセンター、大根工芸
 ちっちゃな星の会、ハッピーラボ、ひまわり

- 8月5日 大道商和会夏祭り
 9月23日・24日 「秦野たばこ祭り」イベント
 12月2日～24日 イルミネーションフェスティバル

5 ともしびショップ ゆめ散歩内就労

事業所より受け入れ人数	9人	知的障害者	7人	精神障害者	2人
一般受け入れ人数	3人	精神障害者	3人		
養護学校アセスメント受け入れ	3人				
一般アセスメント受け入れ	2人	知的障害者	1人	精神障害者	1人

6 就労実績

万葉倶楽部	知的障害者 1人
スタンレーウエル	知的障害者 1人

7 その他活動

(1) 東日本大震災支援活動

・宮城県女川町の障害者施設「きらら 女川」製造の「おからかりんとう」「あげまんじゅう」、および「南三陸町産生わかめ」の販売（3月11日）

(2) 共同受注活動

- ・宅配ずし「銀のさら」箸セット袋づめ
- ・中谷商工 ポールペン箱詰め
- ・高梨紙管 紙管蓋付け
- ・たけのこ学級 菓子パン納入

8 会議等

平成29年4月～平成30年3月
1回/2週間

ともしびショップゆめ散歩会議
(スタッフ会議兼ケース会議)

平成29年5月17日

理事会・通常総会

平成29年10月6日

合同面接会(平塚)

平成30年2月17日、18日

機構研修会

平成30年3月26日

理事会(予算会議)

【 地域活動支援 】

秦野市地域活動支援センター事業報告（平成29年10月分～平成30年3月分）

1 フリースペース

(1) 開所日数 49 日

(2) 登録者実人数 35 名（男性17名、女性18名）

【新規登録者及び登録終了者】

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	登録終了
男性	15	2	0	0	0	0	17	0
女性	13	1	1	1	2	0	18	1
合計	28	3	1	1	2	0	35	1

(3) フリースペース実利用者数 75 名

	10月		11月		12月		1月	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
男性	8	22	9	24	6	14	5	20
女性	8	27	6	27	6	19	7	23
合計	16	49	15	51	12	33	12	43

	2月		3月		合計	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
男性	5	22	8	21	41	123
女性	5	12	2	7	34	115
合計	10	34	10	28	75	238

2 事業活動実績

(1) ピア相談会事業

	10月	11月	12月	1月
開催回数（単位：回）	0	1	1	1
相談人数（単位：人）	0	1	0	1
ピアサポーター（単位：人）	0	2	2	2

	2月	3月	合計
開催回数（単位：回）	1	1	5
相談人数（単位：人）	1	0	3
ピアサポーター（単位：人）	2	1	9

(2) ピアのつどい

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数（回）	0	1	1	1	1	1	5
ピアサポーター（人）	0	6	4	4	2	3	19

(3) ピア学習会

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数(回)	-	-	1	1	1	1	4
ピアサポーター(人)	-	-	3	2	3	2	10

(4) ピア活動普及啓発事業及び、地域交流事業

対象者	開催回数	参加人数	ピア参加人数
退院促進プログラム参加メンバー	6	40	15
秦野曾屋高校特色教室	1	19	2
大根中学校生徒、先生、保護者	1	4	0
鶴巻中学校生徒、先生	1	7	0

2 相談支援

(1) 開所日数 144 日

(2) 相談者実人数 175 名(男性85名、女性69名、不明21名)

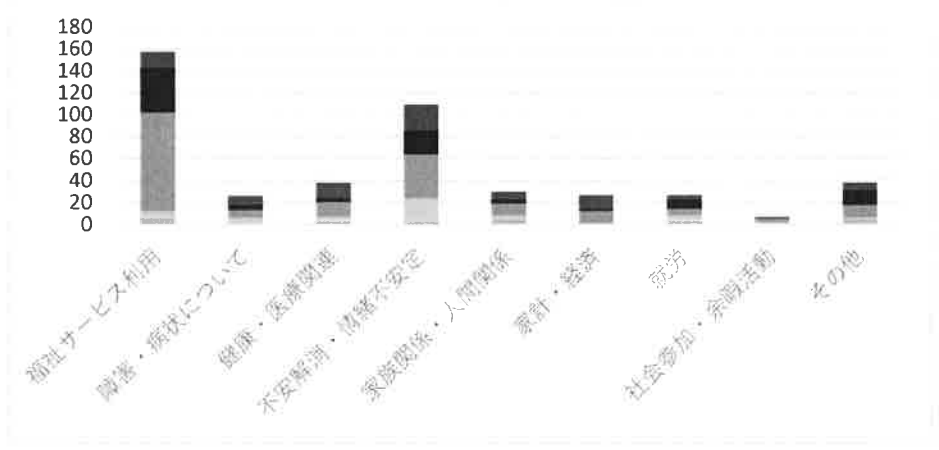
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	16	16	9	19	13	12	85
女性	13	16	14	17	8	1	69
不明	1	8	2	0	5	5	21
合計	30	40	25	36	26	18	175

(3) 支援件数 487 件

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均1日あたり
電話	64	50	47	51	87	74	373	2.5
面談	10	15	10	10	28	15	88	0.6
訪問	1	2	1	4	9	8	25	0.1
同行	0	0	1	0	0	0	1	0.1
合計	75	67	59	65	124	97	487	3.3

(4) 相談内容

	10	11	12	1月	2月	3月	合計
福祉サービス利用	6	6	9	81	41	15	158
障害・病状について	1	5	5	2	5	8	26
健康・医療関連	3	4	9	4	4	14	38
不安解消・情緒不安定	3	21	19	21	22	24	110
家族関係・人間関係	4	4	5	6	4	7	30
家計・経済	0	1	4	7	2	13	27
就労	4	4	2	4	9	4	27
社会参加・余暇活動	0	2	2	1	0	2	7
その他	4	2	4	7	14	7	38
合計	25	49	59	133	101	94	461



【 相談支援事業 】

1 相談支援事業の体制

(1) 対象者

障害・病気がある方及びその家族

(2) 開所日及び開所時間

月曜日～土曜日(祝祭日を除く) 9時30分～17時30分
但し、12月29日～1月3日の年末年始は休業

(3) 相談形態

電話、面談、訪問・同行、メール 等

2 事業概要

(1) 一般相談支援(秦野市からの委託事業)

- ・福祉サービスの利用援助(情報提供・相談等)
- ・相談支援事業の促進に係る企画、立案
- ・社会資源を活用するための支援(各種支援施策に係る助言・指導)
- ・社会生活力を高めるための支援
- ・権利擁護のために必要な援助及び成年後見制度の推進
- ・秦野市障害者支援委員会の運営支援
- ・その他必要な支援

(2) 基幹相談支援センター業務(秦野市からの委託事業)

- ・地域の相談支援事業者で対応することができない個別事例への対応
- ・相談支援専門員に係る人材育成
- ・利用者の支援に係る広域的な調整
- ・市内相談支援事業者との連絡調整
- ・秦野市障害者支援委員会の運営支援
- ・秦野市障害者支援懇話会の運営支援
- ・児童発達支援センターとの連携

(3) 指定特定相談支援、障害児相談支援、一般相談支援(地域移行支援・地域定着支援)

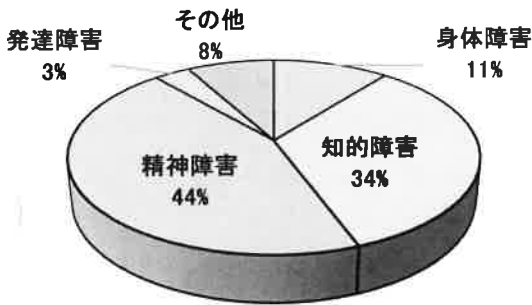
- ・サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成、相談支援
- ・入院及び施設入所支援利用者に対する地域移行支援及び地域定着支援計画の作成、相談支援

(4) 障害支援区分認定調査(秦野市からの委託事業)

(1) 平成 29 年度委託相談支援事業活動実績

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
障害者	16	0	46	66	4	0	10	142
障害児	0	0	4	0	1	0	2	7
合計	16	0	50	66	5	0	12	149



精神障害を専門とする相談員を増員したことから、精神障害の割合が約半数を占めることとなった。

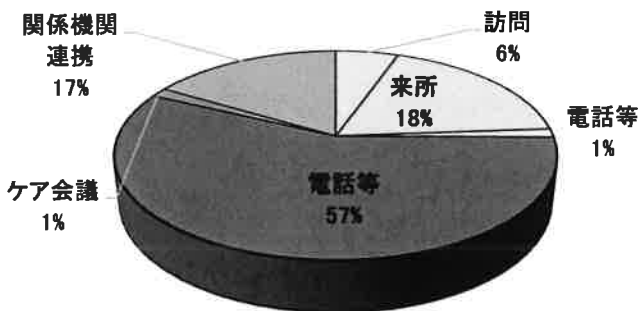
また、前年度実績は1ヶ月平均が16件であったが、今年度は24件と増加した。

【平成 28 年度実績】 合計 197 人
 知的障害 40%、精神障害 19%、その他 16%
 身体障害 12%、発達障害 10%、重症心身障害 2%、
 高次脳機能障害 1%、

b. 支援方法(延べ件数)

(※)電子メール、FAX、郵送含む

	訪問	来所	同行	電話等	ケア会議	関係機関連携	合計
件数	46	155	11	479	12	139	842



来所による支援が前年度実績の月平均(25件)と同様であったため、相談室移転に伴う影響は少なかったと思われる。

その他、関係機関との連携を積極的に行った。

【平成 28 年度実績】 合計 1,626 件
 電話等 70%、来所 19%、訪問 11%

※相談方法から支援方法に実績集計を変更。

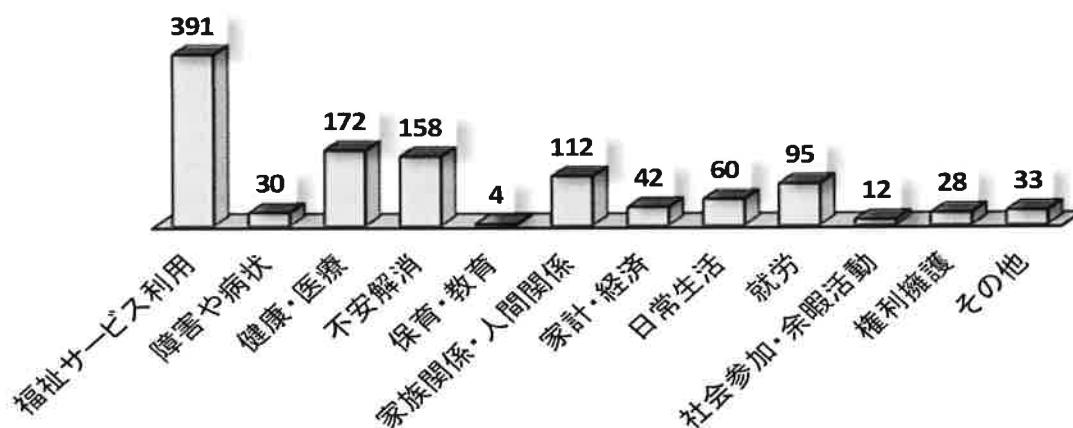
C. 支援内容

※1回の面談で内容が多岐にわたる場合、複数カウントしている。

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係 人間関係
件数	391	30	172	158	4	112

	家計・経済	日常生活	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他
件数	42	60	95	12	28	33

	合計
件数	1,137



【平成 28 年度実績】 合計 2,557 件

福祉サービス利用 819 件、健康・医療 382 件、日常生活 237 件、精神的不安 253 件、就労 220 件、家族関係・人間関係 176 件、家計・経済 162 件、権利擁護 70 件、障害や病状理解 48 件、住居 46 件、社会参加・余暇活動 38 件、保育・教育 32 件、子育て 28 件、その他 22 件、ボランティア 15 件、自立支援 9 件

精神障害専門の相談員を増員したことから、精神障害の方からの不安解消や人間関係のトラブル等での相談件数が増えている。

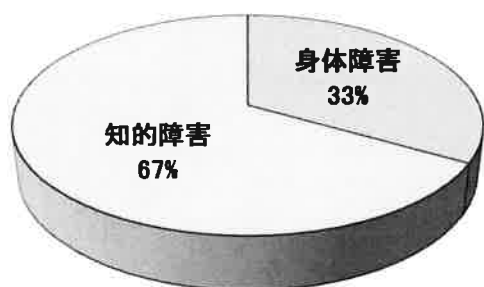
また、1人の相談者に対して、継続して相談支援を必要とする方が増えている。

(2) 基幹相談支援センター業務(委託)

基幹相談支援センターとして、地域の相談支援事業所に対応することのできない個別事例への対応及び、市内相談支援事業所の連絡調整や相談支援専門員の人材育成等を目的に、相談支援事業所等連絡会を開催した。

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
障害者	2	0	4	0	0	0	0	6
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	4	0	0	0	0	6



基幹相談支援センターまたは、委託相談として対応する相談支援の区別が不明瞭である為、相談室内で明確化する必要がある。

【平成 28 年度実績】 合計 63 人
 知的障害 67%、精神障害 11%、その他 11%
 身体障害 6%、発達障害 5%

b. 支援方法(延べ件数)

	訪問	来所	同行	電話等	ケア会議	関係機関連携	合計
件数	2	6	1	2	7	16	34



ケア会議の開催や出席、関係機関との連絡調整等を中心に支援を行った。
 また、新規計画相談やサービス利用等の為に、相談者と事業所を「つなぐ」パイプ役を担った。

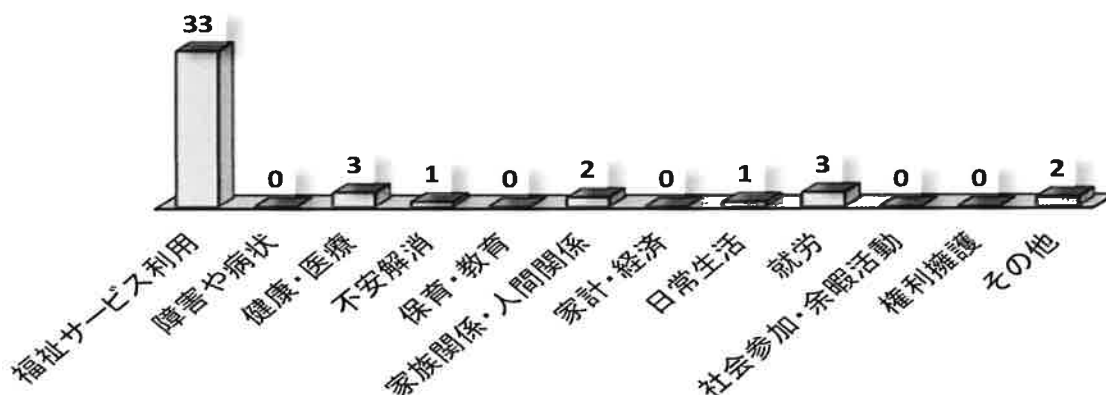
【平成 28 年度実績】 合計 330 件
 電話等 74%、訪問 16%、来所 9%、その他 1%

※相談方法から支援方法に実績集計を変更。

c. 支援内容

※1回の面談で内容が多岐にわたる場合、複数カウントしている。

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係 人間関係
件数	33	0	3	1	0	2
	家計・経済	日常生活	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他
件数	0	1	3	0	0	2
	合計					
件数	45					



【平成 28 年度実績】 合計 463 件

福祉サービス利用 253 件、健康・医療 56 件、家計・経済 32 件、精神的不安 25 件、家族関係・人間関係 21 件、日常生活 18 件、就労 17 件、社会参加・余暇活動 10 件、その他 8 件、権利擁護 7 件、ボランティア 6 件、障害や病状理解 4 件、子育て 3 件、住居 2 件、子育て 3 件、保育・教育 1 件

どこに、どのように相談してよいかわからず、まずは「どんなサービスが利用できるのか。」という主訴で来所されることが多い。

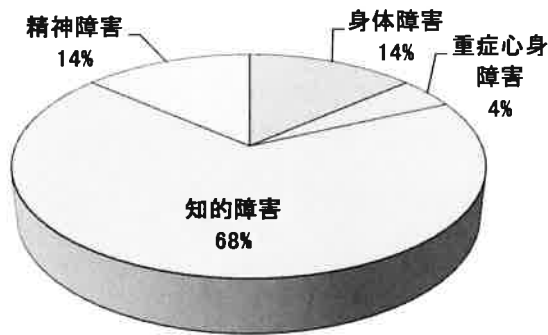
しかし、面談を重ねていく内に、サービス利用以外の生活課題を抱えているおり、深刻な状況になっていることもある。

早い段階から相談支援が行えるように、「障害福祉なんでも相談室」の周知や関係機関、民生委員児童委員協議会等との連携を図っていく。

(3) 指定相談支援事業

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
障害者	3	1	14	3	0	0	0	21
障害児	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	3	1	15	3	0	0	0	22



知的障害者は数年間、継続して割合が高くなっている。

セルフプラン作成支援や地域の相談支援事業所への引継ぎ等を行った。

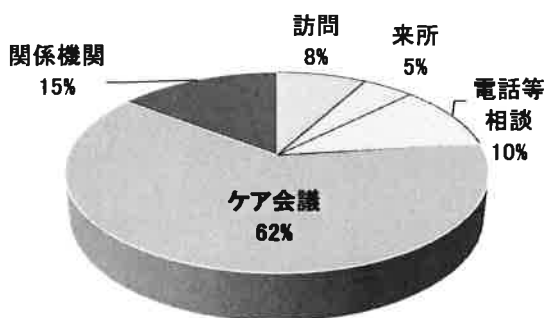
【平成 28 年度実績】 合計 66 人

知的障害 56%、身体障害 14%、精神障害 12%
 発達障害 9%、その他 6%、高次脳機能障害 2%、重症心身障害 1%

b. 相談方法(延べ件数)

	訪問	来所	電話等	ケア会議	関係機関連携	合計
件数	21	12	27	5	38	103

※電子メール、FAX、郵送含む



同一世帯内で複数の障害者がいたり、多くの生活課題を抱えている等で、関係機関との連絡調整を必要とすることが多くなっている。

【平成 28 年度実績】 合計 411 件

電話等 61%、訪問 29%、来所 10%

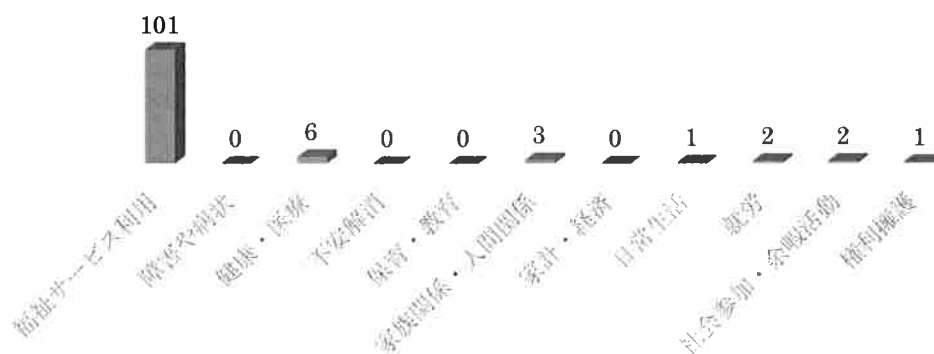
※相談方法から支援方法に実績集計を変更。

C. 支援内容

※1回の面談で内容が多岐にわたる場合、複数カウントしている。

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係 人間関係
件数	101	0	6	0	0	3

	家計・経済	日常生活	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	合計
件数	0	1	2	2	1	116



【平成 28 年度実績】 合計 562 件

福祉サービス利用 382 件、社会参加・余暇活動 32 件、家族関係・人間関係 31 件、健康・医療 30 件、日常生活 25 件、ボランティア 12 件、精神的不安 11 件、家計・経済 10 件、保育・教育 9 件、権利擁護 8 件、就労 6 件、住居 4 件、子育て 1 件、障害や病状理解 1 件

市内の相談支援専門員の数が足りていないため、計画相談を必要とする方、または、セルフプランでサービスを利用していた方が、身体状況の変化等で計画相談を必要としている方に十分な支援が出来ていない状況である。

相談支援を必要としている方に計画相談を行っていくために、「障害福祉なんでも相談室」が行うべきこととして、多くの課題があり、関係機関との調整を必要とする計画相談等を担い、地域で暮らすための基盤が出来た段階で、地域の相談支援事業所へ引き継いでいくという役割を果たしていきたい。

(4) 障害支援区分認定調査

平成 29 年度も、調査員の分担については秦野市が年度当初に一括して事業所へ依頼をしており、調査員の派遣のみを秦野市から委託を受けて実施した。秦野市内外を含めて 136 件の調査を実施している。新規ケースの依頼を都度受けているが、年々増加傾向にある。また、早急に区分が必要なケースや、連絡調整や対応に工夫が必要なケースも多かった。